

# 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成27年10月1日(木) 5校時  
児 童 第1学年 男4名 女3名 計7名  
指導者 教諭 冨澤 広子

1 単元名 すきなおはなしをにんぎょうげきでしようかいしよう  
「サラダでげんき」(東京書籍1年下)

## 2 目標

- 物語に興味をもち、楽しんで読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 人物の登場する順序や行動に着目し、場面の様子について想像を広げながら読むことができる。(読むことウ)
- 人形劇にしたい本や文章を選んで読むことができる。(読むことカ)
- 平仮名及び片仮名を正しく読むことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 3 単元について

### (1) 児童について

小学校に入学してから児童は、「たくさん字を読んでみたい、書いてみたい」という気持ちが強く国語の学習には大変意欲的に取り組んでいる。文学的文章「あめですよ」「とんこととん」では、挿絵と文を照らし合わせながらお話の大体をつかむことや場面の様子を想像したりすることなどを学習してきた。「あめですよ」については、言葉のリズムを楽しみながら読み、動物の特性と雨に対する感覚を表情と照らし合わせながら楽しく読むことができた。「おおきなかぶ」では、繰り返しの言葉やリズム感のある文章を楽しみながら読み、次々に出てくる登場人物に自分を重ね、つなぎの台詞を考えたり、ぬけた後の登場人物の台詞を考えてみんなに教えたりすることができる児童がいる一方で、自分の出る順番と台詞を暗記するだけの児童もいるなど、個人差が見られた。また、叙述をもとに場面を想像して読める子はごく少数である。また、なぜそう感じたのか理由を発表できる子もごく少数である。

そこでこの単元では、行動や会話など人物がしたことに着目して物語を読む力を育てていきたい。また、自分のお気に入りの場面を選ぶことで目的を持って読む力をつけるとともに、それを紹介し合うことで友達の考えにも興味をもって聞こうとする態度も育てていきたい。

### (2) 位置づけた言語活動について

本単元では、「C 読むこと」の「内容(1)ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んで読むこと」「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと」を重点目標とする。そのために、言語活動例「イ 物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること」を具体化し「自分のお気に入りのお話を人形劇で紹介する」という言語活動を設定した。

### (3) 研究に関わる手立て

#### 手立てⅠ 付けたい力を明確にした言語活動の具現化を図る

##### 【本単元で身につけさせたい力】

C 読むこと：ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと

##### 【設定した言語活動及びその特徴】

言語活動：自分のお気に入りのお話しを人形劇にして紹介する（言語活動例イ）

特徴：「人形劇」には、①登場人物の順序や行動・様子に気をつけて読むこと ②読み取ったことを生かした台本を作ること ③台本をもとに工夫しながら楽しんで発表することを位置づける。そして友達と交流することで他の読み物にも興味をもつことができる。

相手：学級の友達

目的：「人形劇」をすることで、場面ごとに登場する動物や場面の様子がわかり、お気に入りの紹介し合うことで友達が読み取ったことや友達が選んだ本について知ることができる。

児童の思い：自分が選んだ動物や場面の様子を人形劇で発表したい。みんなの発表を聞きたい。

能力：・本を選ぶ力

・登場人物の行動や会話、挿絵に着目して読み、友達に伝えたいことを工夫して発表する力

・お気に入りの理由をまとめる力

・相手の思いを受け止める力

#### 手立てⅡ 自分の思いや考えをつむぎ合う活動の充実を目指す

毎時間の「深める」の段階で、登場する動物、おすすめの材料とそのわけをおさえる読みをし、人形劇を通して読み取ったことを生かしてどんな風に読んだり動かしたりして発表するかを考える活動をする。なぜそう動かすのか、どう読むかの理由を叙述に即して発表しあう活動を取り入れることで、場面の様子や登場人物の様子、順序をとらえて読むことができると考える。その際、読みを深めるために、教師が着目させたい文や言葉を取り上げてみんなで考え、考えを出し合いつむぎ合うことでさらに場面の様子を想像しながら物語を読む力が身につくと考える。

### 4 単元の評価規準

○自分のお気に入りの場面の「人形劇」をすることに興味をもち、物語を楽しんで読もうとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

○場面の様子を人形劇で表すという目的をもって、人物の登場する順序や登場の様子、登場人物の行動に気をつけて読み、場面の様子を想像している。(読む能力)ウ

○人形劇にして紹介したい本や文章を選んで読んでいます。(読む能力)カ

○本文に出てくる平仮名及び片仮名を正しく読んでいます。(言語についての知識・理解・技能)

5 単元の指導構想（15時間 本時9／15）

過程		学習活動	具体的評価規準	指導にあたって	
見通す	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元全体の学習の見通しを持つ。</li> <li>○「サラダでげんき」の人形劇をし、自分の選んだ本のお気に入りの場面も人形劇で発表することを知らせる。</li> </ul>	先行読書 関教材文のねらいを確かめ、物語に関心を持ち、これからの学習に対して興味を持って読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サラダでげんき」の物語を詳しく読んで人形劇で発表すること、さらにいろいろな物語を読んで好きなところを人形劇で発表し合うことを知らせ、学習への意欲につなげる。</li> <li>・教師が作った「おおきなかぶ」のモデルを紹介し、イメージを持たせる。</li> </ul>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         自分のお気に入りのお話を人形劇にして紹介しよう                     </div>			
確かめる	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出漢字とカタカナの練習をする。</li> <li>○全文を通読する。</li> </ul>	並行読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読みや筆順、意味のとらえにくい語句について全員で確認する。</li> <li>・教師が登場人物について発問したり、挿絵や一文の短冊黒板を使ったりして物語の順序をつかませる。</li> <li>・挿絵を手がかりに好きな登場人物、気に入った登場人物のペープサートを作る。</li> </ul>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物をつかむ（物語の大体の流れつかむ。）</li> <li>○好きな登場人物、気に入った登場人物をノートに書く。</li> </ul>			読出てくる順番をとらえ、挿絵を手がかりに物語の流れをつかんでいる。 言「誰が」「どうした」をとらえて文章を読んでいる。カタカナで表わされたいろいろな表現の意味を考えたりカタカナに慣れたりしながら読もうとしている。
深める	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○りっちゃんがサラダを作ることになった場面を読む。</li> </ul>	並行読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トントントン」「シャキシャキシャキ」などに着目させながら場面の様子を想像させ、ペープサートの動かし方や音読の仕方を工夫させる。</li> <li>・のらねこや犬の好物、得意なことにサイドラインをひかせ、ペープサートの動かし方や音読の仕方を工夫させる。</li> <li>・すずめやありの好物にサイドラインをひかせたり、生活経験をもとに様子を想起させたりしながらペープサートの動かし方や音読の仕方を工夫させる。</li> <li>・馬や白熊の様子や好物にサイドラインをひかせ、ペープサートの動かし方や音読の仕方を工夫させる。</li> <li>・アフリカ象の得意なことや特徴にサイドラインをひかせ、ペープサートの動かし方や音読の仕方を工夫させる。</li> <li>・動物たちが好きな食べ物、元気になる食べ物を教えてくれたことを振り返らせ、りっちゃんとおかあさんのペープサートの動かし方や音読の仕方を工夫させる。</li> </ul>	
	5・6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○のらねこや犬が教えたこととそのときの様子を想像して読む。</li> </ul>			読のらねこや犬の登場の様子、教えてくれたことやそのわけを読み取って台本に書き、人形の動かし方に生かそうとしている。
	7・8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すずめとありが教えたこととそのときの様子を想像して読む</li> <li>○馬と白熊が教えてくれたこととそのときの様子を想像して読む。</li> </ul>			読すずめやありの登場の様子、教えてくれたことやそのわけを読み取って台本に書き、人形の動かし方に生かそうとしている。 読馬や白熊の登場の様子、教えてくれたことやそのわけを読み取って台本に書き、人形の動かし方に生かそうとしている。
	9（本時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アフリカ象がしたこととそのときの様子を想像して読む。</li> </ul>			読アフリカ象の登場の様子、教えてくれたことやそのわけを読み取って台本に書き、人形の動かし方に生かそうとしている。
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サラダを食べたときのりっちゃんやお母さんの様子を想像して読む。</li> </ul>	読サラダができてお母さんと一緒に食べているときの様子を読み取って台本に書き、人形の動かし方に生かそうとしている。		

	11 12	○人形劇で発表したいところの場面を練習する。	並 行 読 書	話聞物語を読んで分かったこと をもとに、発表することがで きるよう台本を見たり友達と 相談したりして練習してい る。	・これまで学習してきたことを生 かして、台本を使って様子や人 物の気持ちが表れるように工夫 させて発表させる。
	13	○人形劇を発表し合う		話聞聞き手に工夫したことが伝 わるように、声の大きさや速さ などに注意して、はっきり読 もうとしている。	・友達が工夫した発表もしっかり きくようにし、感想をもって聞 かせる
広 げ る	14	○選んだ本の好きなどころの 人形劇の練習をする。		読並行して読んできたいろい ろな物語の好きなどころの読 み方を台本にかき、工夫して発 表しようとしている。	・これまで学習してきたことを生 かして、ペープサートや台本を 使って様子や人物の気持ちが表 れるように工夫させて発表させ る。
	15	○人形劇を発表し合う		話聞聞き手に工夫したところが 伝わるように、声の大きさや速 さなどに注意して、はっきり読 もうとしている。	・これまで学習してきたことを生 かして、自分の選んだ本の好き な場面の人形劇を発表しあい、 感想を交流させる。

## 6 本時の指導(9/15)

### (1)目標

- ・ぞうが自分の得意なことを生かしてサラダを仕上げた様子を想像して読むことができる。

(発言、ノート、ワークシート)

### (2)展開

	学 習 活 動	支援(○)留意点(・) 研究主題とかかわるところ(◎)	備 考
つ か む  (5)	1 前時までの学習を確認する。 ・前時までの読み取ったことと本時も人形劇でどんな工夫をしていくか学習することを確認する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">             アフリカぞうのばめんを にんぎょうげきでしようかいしよう。           </div> 3 課題解決への見通しをもつ。 ・アフリカぞうとりっちゃんのペープサートを使って人形劇をすることを確認する。	◎学習計画を確認しながら、本時も人形劇につながる学習であることを意識させる。(◎仮説1)  ・人形劇で紹介するために・・・ ①材料とわけにサイドラインを引く。 ②「会話文」の読み方やペープサートの動かし方を考える。 ことを確認させる。	掲 示

<p>学ぶ (15分)</p> <p>深める (15分)</p>	<p>4 アフリカぞうの登場の様子，サラダに入れる材料や入れる理由について読み取る。</p> <p>①おすすめの材料とわけにサイドラインを引く。</p> <p>c：油と塩と酢です。わけは…？</p> <p>c：わけが書いてないけど味がおいしくなると思います。</p> <p>c：しっかり混ぜるとおいしくなってたくさん食べられると思います。</p> <p>②「会話文」の読み方やペープサートの動かし方を考える。</p> <p>・登場の様子から読み方を考える</p> <p>c：忙しそうに動かして急いで読みます。 ⇒ せかせかと降りてきました。と書いてあるから速く読む。せかせか動かす。</p> <p>c：ごめんね。という気持ちで読む。 ⇒ でも、もうできあがったの。とあるからです。頭を下げるように動かす。</p> <p>c：自信を持って読む。 ⇒ ぼくの最後の仕上げでおいしくなるぞ。おいしくしたい。見てて！</p> <p>c：ペープサートを大きく動かす。 ⇒ 力持ちのアフリカぞうなので大きく動かす。</p> <p>・台本に読み方・動かし方のメモをする。</p> <p>5 話し合ったことを生かして人形劇をする</p>	<p>・登場の様子，サラダに入れる材料，材料を入れる理由に着目して音読させる。</p> <p>◎サラダができあがったのになぜ「これからがぼくのしごと」なのか着目させ、前時までに学習してきた「自分の好物」ではなく、人間にとっておいしくなるように工夫してくれていることをみんな考えていく。(※仮説2 めざす児童像①③⑤)</p> <p>◎自分が考えた読み方の理由を発表し合うことでどんな動きでどんな読みをすればいいかみんな考えていく。(※仮説2 めざす児童像③⑤)</p> <p>○板書を手がかりに書くように支援する。</p>	<p>揭示</p>
<p>まとめる (10分)</p>	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>・板書を手がかりにおかあさんを元気にするために本時の動物もがんばってくれたことを確認する。</p> <p>・本時の学習でわかったことや友達の意見を聞いて参考になったことを振り返る。</p>	

(3) 本時の評価規準

目標 (領域)	A 十分満足	B 概ね満足	C 支援の手立て
<p>アフリカぞうの登場する様子，行動に気をつけて読み，場面の様子を想像して読むことができる。</p>	<p>アフリカぞうの登場する様子，行動に気をつけて読み，場面の様子を想像して動かし方や読み方を工夫したり台詞を付け足したりして人形劇をすることができる。</p>	<p>アフリカぞうの登場する様子，行動に気をつけて読み，場面の様子を想像して動かし方や読み方を工夫して人形劇をすることができる。</p>	<p>アフリカぞうの登場の様子，会話に気をつけて読み，友達の読み方を聞いて一緒に読んだり，動作をまねしたりできるように支援する。</p>

(4) 板書計画

サラダでげんき

アフリカぞうのばめんを  
にんぎょうげきでしようかいしよう

材料 あぶら、しお、す  
わけ 味付けをするとおいしくなる。  
しつかり混ぜるとおいしい。

せかせかとおりてきて  
はやく いそがしそうに  
まにあつて よかった よかった  
ひとつおてつだい しましよう。

はりきっている  
ぼくもおいしいサラダにする  
ためにおてつだいにきたよ!

「ありがとう。でも、もうできあがったの」  
ちいさいこえで  
ごめんね。せつかく  
来てくれたのに……。

「いやいや、これからがぼくのしごと。」  
じしんもって おおきなこえ  
とくせい  
ドレッシングを  
しつかりませよう

しつかりませ  
ておいしいサ  
ラダにするぞ。

挿絵